# れんごうさが

No.172
2019年7月

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて～希望ある未来づくりを～

RENGO SAGA

発　行　日本労働組合総連合会・佐賀県連合会
発行人　草場義樹　　編集者　高祖和彦



〒840-0804
佐賀市神野東4-7-3　TEL0952-33-3705　FAX0952-33-2805　0120-154-052


## 2019年度 臨時大会開催

連合佐賀は６月29日（土）、ホテルマリターレ創世において、役員・代議員等約120名を集め、2019年度連合佐賀臨時大会を開催した。

森田副会長の司会・開会あいさつに始まり、議長団として山﨑裕介代議員（自動車総連）を選出した。

今回の臨時大会議案は、第１号議案「連合佐賀会長の補充に関する件」、第２号議案「表彰に関する件」であり、第１号議案については「選挙管理委員会の報告」により議長判断として即採決し、井手雅彦新会長の就任が確認された。その後、連合佐賀役員として通算15年７カ月もの間ご尽力いただいた青柳前会長の表彰が行われた。

また臨時大会終了後、第25回参議院選挙勝利決起集会が開催され、佐賀県選挙区選出・参議院議員「犬塚ただし」を誕生させるため、全力でたたかうことを確認した。

## 新会長就任あいさつ

６月29日の連合佐賀の臨時大会により、第７代目の会長を承認いただきました井手です。

超少子高齢化時代の到来による人口減少や偏った年齢構成により、年金や医療・介護等の社会保障制度の制度的な課題、財政的な課題はより深刻になっています。一部富裕層を除けば、漠然とした将来的な生活の不安は誰しも感じているところではないかと思います。また、その他にも教育・労働法制・安全保障など、多くの分野で課題や問題は山積しています。

私たち連合は、将来に向けて、安心して生活し、安心して子供を育て、安心して働き、安心して老後が過ごせるよう、連合という大きな組織をもって、目の前そしてその先にある、あらゆる課題に対し、その使命と責任の重さを感じつつ社会運動の中心的役割を担わなければならないと思うところです。働く人や生活者の目線にたち、永続的な安心社会の構築に向け、微力ではありますが、私も構成組織のみなさんと共に、精一杯頑張りたいと思います。

# ～2019連合九州ブロック「男女平等参画推進フォーラム」開催～

５月11日（土）、12日（日）四季彩ホテル千代田館にて、連合九州ブロック主催のもと「男女平等参画推進フォーラム」を開催した。

司会の矢田事務局長（連合福岡）より、開催趣旨が説明され「役員だけが頑張るのではなく、職場リーダーづくりを進めて行こう」との開会挨拶、連合九州ブロックを代表し、連合佐賀　青柳会長より「本部提起や明日の講演を女性活躍推進に活かしてもらいたい」との挨拶を受け、進行された。

1949年 第1回ポスター

## ≪講演Ⅰ≫「連合がめざす男女平等参画社会の実現に向けた取り組み」
## （講師）連合本部総合男女・雇用平等局　井上 久美枝 総合局長

冒頭、連合佐賀実行委員会が会場内に貼付した「婦人週間」と「男女雇用均等月間（６月）」のポスターを紹介し、（1）戦前の女性たちはどんな立場に置かれていた？～旧民法の規定から読み解く～（2）私たちを取り巻く状況～男女平等の視点から～（3）女性の政治参画について（4）連合がめざす男女平等参画とは～労働組合が男女平等参画に取り組む意義～との４つの柱を中心に、政界や企業あらゆる場面で女性が少ない。女性の参画・参加が３割程になれば、個人的な課題が社会的な課題として認められる。労働組合においても女性の参画率３割を目標に努力し、取り組みを進めて行くことが必要。との講演を受けた。

その後、「男女平等参画社会を実現しよう！」をテーマに、連合佐賀男女平等参画推進委員会で指定した課題、①職場における男女平等の定着、②家事シェアを考えよう、③セクハラに気付いてハラスメントを考えよう、のグループ課題ごとに「チェックシート」を活用し、職場・単組、家庭での状況、課題と対策について分散会による討議を行った。

２日目は、分散会での討議内容について報告が行われ、課題改善に向けた活動、女性リーダー育成の必要性、等の議論内容が報告された。

## ≪講演Ⅱ≫「イクボスから人生100年ライフシフトへ～働き方改革は生き方改革～」
## （講師）NPO法人ファザーリング・ジャパン　安藤 哲也 代表理事
（ライフシフト・ジャパン 取締役会長）

安藤 講師

生産年齢人口が減り続ける中、家庭のあり方や働き方の考え方も変わってきているからこそイクボスによる働き方改革が必要になっている。男性は家庭が「ホーム」ではなく「アウェー」になっていないか？　熟年離婚が大量発生（年間６万件）。意識と働き方を見直そう。人生100年時代、「働き方改革」は「生き方改革」となる。

イクボスとは、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のことを指す。イクボスの「育」は、部下・企業組織・社会を育てる「育」である。いつでもどこでもどんな仕事でも働く「無制約社員」から、育児や介護、高齢、病気といった様々な事情により働き方が限定される「制約社員（推定7割）」が増えている。部下全員を輝かせ成果を出す実践がイクボス。部下の時間を奪うのも、捻出するのもボス次第。業務を減らすために「やらなくていいことを決める、部下に任せる、ヒマになる、意思決定する」覚悟が必要。一度採用したら終身雇用で、忠誠心を持って会社の言う事をなんでも聞くという時代は終わった。会社が個人に何を提供できるかが問われている。との内容が熱く語られた。

フォーラム閉会にあたり、連合本部井上総合局長より、まとめが行なわれ全日程を終了した。

## ～連合佐賀青年委員会「2019ユースフォーラム」開催～

連合佐賀青年委員会は５月26日（日）、自治労会館大会議室において、構成組織、地域協議会ならびに青年委員会役員ほか総勢43名（うち女性５名）の参加のもと「2019ユースフォーラム」を開催した。本フォーラムは、若者の政治課題に対する意識を高めることを目的に、毎年政治学習会を開催している。

主催者を代表して古庄副委員長が挨拶を行い、連合佐賀　青柳会長からは、志を持っていかなければならないと熱い思いを込めて挨拶が行われた。その後、山下委員の司会により会を進められた。

講演については、講師として連合佐賀議員懇談会会長の徳光清孝県議会議員を招き「2019年度佐賀県予算と県政の課題」というテーマで、佐賀県が抱える数々の問題について講演をいただいた。講演後の質疑応答では、長崎新幹線やその他の問題について活発な意見が出された。

講演後は、講演を聞いて感じたこと、考えたことなどについてグループ討議を行い、各班でまとめた内容の発表を行った。

最後に古庄副委員長がまとめと今後の青年委員会開催行事についての参加協力の要請を行い、ユースフォーラムを終了した。

## 全国一斉「女性のための労働相談ホットライン」実施

全国一斉集中労働相談ホットラインは、女性を取り巻く厳しい職場実態や女性が抱える不安、性差別を明らかにし、相談を通じて組合結成や処遇改善の取り組み等の対応を行うとともに、寄せられた相談をもとに政策・制度への反映をはかることを目的としている。

近年、働く女性を取り巻く環境は変化しており、2016年４月に女性活躍推進法、2017年１月には改正育児・介護休業法が施行されるなど、働く女性に関わる法制度の整備が進んでいる。その一方で、職場内におけるセクハラ・パワハラ・マタハラなど「差別等」に関する女性からの相談は増加傾向にある。また、女性相談者の約６割が非正規雇用労働者（パート、アルバイト、派遣社員、契約社員等）であり、2018年４月１日からスタートした「無期転換ルール」に関連した雇止めなど非正規労働者の雇用問題も増えている。

このような状況を踏まえ、６月３日（月）、４日（火）の２日間、連合「女性のための労働相談ホットライン～職場で悩むあなたを応援（サポート）します！～」を統一テーマとした全国一斉集中労働相談ホットラインが行われた。

△労働相談を受ける田中女性委員長

△労働相談を受ける弥吉アドバイザー

今回、テレビ取材があり、テレビを見て電話をしたという相談者が多かった。

【期間内の相談件数】６件

・有給休暇取得について、
　賃金の不払い、
　退職についてなど

# 男女平等に関する要請書を佐賀労働局雇用環境・均等室へ提出

## ～2019年度　連合「男女平等月間」（6月）の取り組み～

連合佐賀は６月20日（木）、男女平等月間の取り組みの一つである佐賀労働局への要請行動として、雇用環境・均等室に対し「雇用における男女平等に関する要請書（①仕事と育児・介護が両立できる就業環境整備、②あらゆるハラスメントのない就業環境整備、③ジェンダー・ハラスメントをなくしていく重要性の周知徹底、④性的指向・性自認に関する労働局相談対応研修の実施、⑤次世代育成支援対策推進法、育児･介護休業法の推進、男性の育児休業取得促進、⑥女性活躍推進法に基づく行動計画の一層促進、⑦仕事と不妊治療の両立支援の取り組み推進、⑧労働局雇用環境･均等室職員へのさまざまなジェンダーに関する課題対応研修の実施の8項目）」を提出した。

要請にあたっては相互の自己紹介の後、「要請書」手交、要請事項に関して説明、要請を行った。

意見交換では、新納室長が本年4月に赴任されたことから、他県（長崎・宮崎・鹿児島）と比較した佐賀県における男女平等と女性参画の実現状況をはじめ、労働局が取り組む法律に基づく各種制度活用の推進などを中心に意見交換を実施した。

また、人手不足が重大問題となっている佐賀県において「昼間人口」が多くなっているとの調査結果の要因や育児に関する理解がとぼしい男性にとっても、介護問題は避けて通れない課題として理解を求めやすいことなどについても意見交換した。

連合からは、女性活躍推進法に基づく行動計画推進や法律に基づく制度の利用状況などについて、職場現状の報告を行いながら中小・零細企業における理解が得られていない実態から、労働局による精力的な男女平等･参画の取り組みの推進を求めた。

なお、男女平等やワーク・ライフ・バランスに関わる課題と取り組みは、「働き方改革」と密接な関係にあり、来年4月に施行される同一労働同一賃金へ向けた職場における労使の議論と環境整備として取り組むことが重要との認識を共有化し、今後も連合佐賀と連携しながら取り組んでいくことを確認し合い終了した。

2019年6月20日

佐賀労働局 雇用環境・均等室
室長　新納　広子 様

連合佐賀 ［］労働組合総連合佐賀地方連合会
会長　育　鳴

連合佐賀 男女平等参画推進委員会
委員長　二十歩　浩一

連合佐賀 女性委員会
委員長　田　中　朋　美

雇用における男女平等に関する要請

貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当佐賀労働組合会の活動に対しまして、ご高配を賜っていることに深く感謝申し上げます。

連合は、すべての労働者の人権が尊重され、あらゆる分野への参画の機会が保障され、役割と責任を分かち合う社会、また、性別や雇用形態にかかわらず、すべての労働者が仕事と生活の調和の取れるワーク・ライフ・バランス社会の実現に取り組んでいます。

人口減少、超少子高齢化社会を迎え、将来にわたって持続可能な社会づくりが求められている中、女性の参画を促進し、男女がともに安心していきいきと働ける就業環境の整備は喫緊重な課題となっています。

1986年に男女雇用機会均等法が施行されて以降、育児・介護休業法や次世代育成支援対策推進法、また、近年には女性活躍推進法が制定されるなど、一定の改善は進んできました。

しかし、固定的性別役割分担意識のもと、家事や育児、介護が女性に偏りがちな中、女性の管理職比率や勤続年数は男性に比べはるかに、男女間賃金格差は依然として大きく開いたままです。

加えて、昨今、ドメスティック・バイオレンス（DV）を含む仕事の世界における暴力とハラスメントや性的指向・性自認（SOGI）に関する差別の社会問題として浮上しており、これらに関する労働分野における取り組としての雇用環境・均等部（室）の役割は一層大きくなっていると考えます。

連合としても、貴職と緊密な連携をはかりつつ、だれもが個性や能力を発揮できるジェンダー平等の実現に向けて、すべての労働者の就業環境の整備と持続改善に努めていきたいと考えています。

つきましては、下記の事項に関してお取り計らいくださいますよう要請いたします。

記

1. 連合が掲げるすべての就業環境の整備に向けて、育児・介護休業法に関する労使の実態調査結果を含めた各種調査の実施状況や、解雇対応・職場ハラスメント対策について、パワーハラスメント防止措置やハラスメント責務（企業の対策における取組状況を行うとともに、今年6月の就業環境の整備に向けた取り組みを推進すること。
2. 「企業の対策における取組状況」（パワーハラスメント）に関する事前調査（いわゆる「ジェンダー・ハラスメント」）をなくして職場における性的言動の防止のための行為を対象とすること、性別役割分担意識の改正により、性的言動・性自認（SOGI）に関する差別の社会問題として浮上した時点を含め、職場へ、職場内に必要な研修を継続的に実施すること。
3. 「性的言動の防止」に関する研修を継続的に実施すること。
4. 「性的言動の防止」に関する研修を継続的に実施すること。
5. 「性的言動の防止」に関する研修を継続的に実施すること。
6. 「性的言動の防止」に関する研修を継続的に実施すること。
7. 「性的言動の防止」に関する研修を継続的に実施すること。
8. 「性的言動の防止」に関する研修を継続的に実施すること。

以上

# 平和で安定した社会・暮らしの実現を目指して

## ～平和行動in沖縄<2019年6月23日(日)～24日(月)>～

2019平和オキナワ集会は、「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」をテーマに６月23日（日）15時より開催し、構成組織・地方連合会から1,274名が集結して、沖縄の課題解決に向けて取り組んでいくことを確認した。

**第一部　講演会**

島袋秀樹沖縄県知事公室基地対策課調査班長を講師に、「他国地位協定調査について」をテーマに講演していただいた。講演では、今後の取り組みとして調査対象国を韓国、フィリピン、オーストラリアなどのアジア諸国等に拡大して、日米地位協定の問題点をさらに明確化していきたいと述べられた。

**第二部　平和式典**

冒頭、参加者全員による黙祷を行い、主催者を代表して相原康伸連合事務局長は、「改めて平和の尊さ、戦争の悲惨さを次の世代にしっかりと語り継ぎ、悲劇を繰り返さないことを固く誓い合いたい。米軍基地をめぐる問題は、日本全体の課題でもある。ここで学び感じたことを地域や職場に持ち帰り、今後の運動として展開することを強く期待する」と述べられた。

続いて、大城紀夫連合沖縄会長から、「今沖縄では新たな基地がつくられようとしている。県民は県民投票で圧倒的な反対の民意を示したが、安倍政権は民意を無視している。沖縄の現状を知ってほしい」と地元歓迎のあいさつが行われた。

２日目は、米軍基地の実情や南部戦跡の視察・学習のため「ピースフィールドワーク」を実施し、460名が参加をした。終了後17時から沖縄県庁前県民広場にて、沖縄平和行動の締めくくりとして、650名が参加し、「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を求める集会が開催された。集会後、沖縄県庁前県民広場から国際通りを牧志公園までデモ行進し、集会に込めた思いを強く訴えすべての日程を終了した。

## 平和行動スケジュール

◆平和行動ｉｎ広島　＜８月５日（月）～６日（火）＞
◆平和行動ｉｎ長崎　＜８月８日（木）～９日（金）＞
◆平和行動ｉｎ根室　＜９月７日（土）～８日（日）＞

【上記３行動は次号へ掲載予定】

# 第25回参議院議員選挙結果

## 佐賀選挙区

| 当落 | 氏名 | 年齢 | 得票数<br>得票率 | 略歴 | 政党 | 新・旧 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ● | 山下　雄平 | 39 | 186,209<br>61.65% | 〈元〉内閣府政務官 | 自民 | 現 |
| | 犬塚　直史 | 64 | 115,843<br>38.35% | コンサル会社社長 | 国民 | 元 |

## 比例区＜連合推薦候補＞

| 当落 | 氏名 | 年齢 | 得票数 | 略歴 | 政党 | 新・旧 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 石上　俊雄 | 57 | 191,703 | 〈元〉東芝労組役員 | 国民 | 現 |
| ● | 礒﨑　哲史 | 50 | 258,186 | 自動車総連顧問 | 国民 | 現 |
| ● | 小澤　雅仁 | 53 | 144,079 | 郵政労組役員 | 立憲 | 新 |
| ● | 岸　真紀子 | 43 | 157,517 | 自治労役員 | 立憲 | 新 |
| | 田中　久弥 | 60 | 143,252 | ＪＡＭ副会長 | 国民 | 新 |
| ● | 田村　麻美 | 43 | 258,857 | ＵＡゼンセン<br>政策グループ政治局員 | 国民 | 新 |
| ● | 浜野　喜史 | 58 | 255,882 | 〈元〉電力総連役員 | 国民 | 現 |
| ● | 水岡　俊一 | 63 | 148,164 | 〈元〉首相補佐官 | 立憲 | 元 |
| ● | 森屋　　隆 | 52 | 103,617 | 私鉄総連局長 | 立憲 | 新 |
| ● | 吉川　沙織 | 42 | 142,535 | 〈元〉参院経産委長 | 立憲 | 現 |

## 比例区＜連合佐賀構成組織推薦候補結果＞

| 当落 | 氏名 | 年齢 | 得票数 | 略歴 | 政党 | 新・旧 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ● | 吉田　忠智 | 63 | 148,937 | 〈元〉党首 | 社民 | 元 |

**全産別・単組、組合員のご活動に感謝申し上げます。**
**ありがとうございました。**

## 編集後記

2019春闘も、最終集約となった。今春闘は100人未満の組合が初回集計から一貫して昨年同時期を上回り、かつ、賃上げ分も額・率とも全規模区分で最も高くなっている。最終集計に至っても、要求・回答ともに、100人未満の組合の健闘ぶりが顕著となった。

参議院選挙においては、惜しくも惜敗となったが、構成組織の皆様に対しご協力に対する感謝を申し上げたい。反省を踏まえ、次回につなげていきたい。